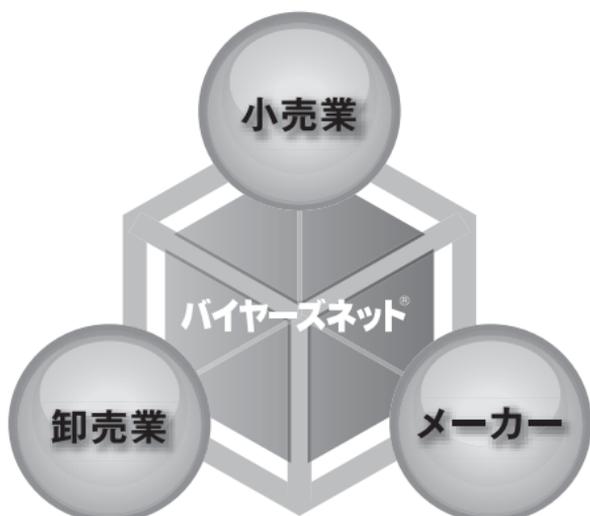


MD・商談・仕入業務の効率化を支援する 情報共有サイト「バイヤーズネット」



プラネットの「バイヤーズネット」は流通関係者向けの会員制情報共有サイトだ。小売業、卸売業、メーカーの3,574社・1万9,811人が会員となっている(6月末現在)。

サイトの主要なコンテンツは消費財メーカーと共同運営している「商品データベース」。統一フォーマットで登録された商品情報は日用品から酒類、加工食品、一般用医薬品(大衆薬)まで、707社の10万4,523品に及ぶ(6月末現在)。商品情報を検索・閲覧できるほか、店頭販促(POP)や棚割に使える画像をダウンロード(有料)することもできる。

商品データベースを活用する「商品マスタ登録支援サービス」にも注目だ。すでに卸売業16社、小売業6社が導入している。

商品マスタの登録業務は仕入先が作成した新商品登録シートをバイヤーが確認、手作業でデータ入力するなど手間がかかり、ミスも少なくなかった。同サービスは商品データベースの情報を商品マスタに取り込めるようにし、情報の送り手・受け手双方の業務効率化に寄与。情報の精度向上や取引先との商品マスタ共有なども実現する。

バイヤーズネットは業界ニュースや市場動向などマーケティングに役立つ情報も配信する。顧客ID付きPOS(販売時点情報管理)データ分析を手がけるカスタマー・コミュニケーションズが集計した「ドラッグストア商品購入リピート率ランキングトップ20」も掲載。商品データベースと連携しており、ランキング記載の商品をクリックすると詳細情報を参照できる。「絶対に欠品を避けるべきアイテム」や「売り込めばリピーターがついて伸びる商品」などを発見できるだろう。

そのほか社内外の担当者間で安全に情報共有できる「ビジネスナビゲータ」や、取引先向けの帳票・資料を一括送信できる「ファイル振分」など充実の機能が搭載されている。